

## 与一太鼓

投稿者：与一太鼓会長 平山 文夫

与一太鼓は「与一の里・大田原」の新しい伝承文化として平成5年に発足し、定期演奏会の開催やさまざまなイベントに参加するなどの活動をしています。

下記の通り、会員募集の説明会を開催します。老若男女、誰でも応募できますので、和太鼓演奏の醍醐味を味わいたい方は、ぜひお集まりください。

●日時…8月23日(火)、30日(火)、9月6日(火)

午後7時30分～8時30分

●場所…那須与一伝承館 多目的ホール(那須神社側の出入り口から入館)

●対象者…小学4年生から(家族での応募歓迎)

問 与一太鼓会長 平山 文夫

TEL 090(5413)3562



令和2年度産業文化祭での演奏の様子

市内で活躍する  
皆さまを紹介します

# 大田笑人

## いいとこ撮り



## 「みそはぎロード」が見頃を迎えます！

投稿者：みそはぎ会代表 徳原 弘美

ボランティアグループ「みそはぎ会」では、県営中田原住宅と市営中田原住宅の間を流れる巻川沿いにみそはぎを植栽し、草刈りや剪定などの手入れをして大切に育てています。1人でも多くの方に笑顔をお届けしたいとの思いで活動してきました。

今年も、8月中旬～9月中旬に約10万本のみそはぎの花が見頃を迎えます。ぜひお越しください。

問 みそはぎ会代表 徳原 弘美

TEL 090(8983)8563



## 『みんなのひろば』 投稿募集

問 情報政策課 6階 電話(23)8700  
メール:jouhou@city.ohatawara.tochigi.jp

### ①我が家の『○○』

家族やペット、家庭料理のレシピ、丹精こめて育てた庭の花や盆栽など、『○○』に言葉を自由に当てはめて、我が家の自慢の『○○』をご紹介します。

### ②いいとこ撮り

市内で撮影した風景やイベントの様子などの写真を募集します。投稿写真は市ホームページにも掲載します。特定の人物を被写体とする場合は、ご本人の承諾を得てください。

### ③大田笑人

市内で活躍する個人・団体を紹介してください。自薦・他薦は問いませんが、他薦の場合はご本人の承諾を得てください。なお、営利目的の掲載はできません。

#### ●応募方法

Eメールに写真を添付し、本文に次の①～⑥を記入して情報政策課にお送りください。

①コーナー名(我が家の『○○』・いいとこ撮り・大田笑人)

②写真のタイトル

③コメント(200文字程度)

④氏名とペンネーム(本名掲載を希望の場合は不要)

⑤住所(番地も記入。紙面には大字のみ掲載します。)

⑥電話番号

#### ●注意事項

\*原則として受付順に掲載しますが、応募多数の場合は過去に一度も掲載されていない方を優先します。

\*掲載回数の上限は1人につき月1回かつ同一年度内3回までとし、2号連続しての掲載は行いません。

\*掲載された場合の謝礼はありません。

#### ●掲載できない記事

- ・市の品位、公共性または公益性を損なうおそれがあるもの
- ・政治的、宗教的または選挙活動に当たるもの
- ・掲載意図および内容が明確でないもの
- ・営利を目的とするもの
- ・個人、団体を誹謗中傷するもの
- ・公序良俗に反するもの

※詳細は、市ホームページをご覧ください。



6/14

## 文化財保護を続けて 30 年

コミュニティ協会会長表彰受賞報告



5月23日に令和4年度栃木県コミュニティ協会会長表彰を受賞された石田青壮年クラブが市長を訪問されました。

湯津上地区にある「国指定史跡 上・下侍塚古墳」「市指定史跡 観音塚古墳、二つ室古墳」の水草刈りを約30年に渡り継続して行っています。

特に、上・下侍塚古墳は、県内屈指の大型の前方後方墳であり、作業面積は広範囲に渡りますが、地元の貴重な文化財を自分たちの手で保護する活動を長きにわたり継続して行っていることが認められ表彰となりました。

6/14

## 花で大田原に元気を

よいち産直会からの寄贈



道の駅那須与一の郷で農産物を販売するよいち産直会より、大田原市に「フラワーアレンジメント」の寄贈がありました。

アレンジメントに使用されている生花は、産直会農家のうち約30人の会員の皆さまが生産したもので、リンドウやユリ、キンギョソウなど10種類以上の色鮮やかな花で構成されています。

寄贈されたアレンジメントは、本庁舎内に飾り付けさせていただきました。

6/23

## 産学官連携水槽の底砂を共同開発

大田原市産学官連携推進委員会新商品発表



東京石材株式会社、小山高専、なかがわ水遊園と大田原市の共同研究により、亀久地区の花こう岩を材料とした、魚にやさしい水槽用の底砂「光亀石(きせき)」を開発し、商品化しました。熱処理をすることで鮮やかな赤色に変わり、モニター調査でも水の浄化作用が評価されました。那須与一をあしらった高級感のあるパッケージデザインは地域おこし協力隊の菅原ひかるさんの作品です。



6/22

## 地域活性化のために

秋田マテリアル株式会社からの寄附



秋田マテリアル株式会社(秋田県にかほ市)から企業版ふるさと納税による寄附をいただきました。秋田マテリアル株式会社は、本市にある那須マテリアル株式会社(北金丸)の関連会社であり、本市の文化財を活用した地域経済活性化の取り組みに賛同いただき、寄附をいただいたものです。

6/27

## 世界の芸術を身近に感じとろう

第8回ゲタ箱展



芸術文化研究所(中野内)において、6月18日から30日まで第8回ゲタ箱展を開催しました。

旧両郷中学校で使用されていた下駄箱を展示場所としたゲタ箱展は、アートをより身近に感じていただくため、作品に触れることができます。今回は、世界各国から集まった作品119点が展示され、たくさんの方にご来場いただきました。

現在、ホームページで作品を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

☞<http://art.nasu-symposium.jp/>

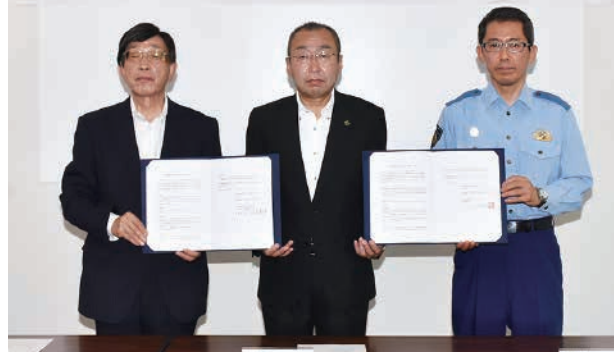


6/23

必要な支援が途切れることなく  
行き届くように

犯罪被害者等支援の連携協力協定締結式

大田原市・大田原警察署・公益社団法人被害者支援センターとちぎ



市は、大田原警察署、被害者支援センターとちぎとの間で「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」を締結しました。

本年4月、「大田原市犯罪被害者等支援条例」の施行に伴い、市では、総合支援相談窓口の設置や見舞金の支給などの支援に取り組んでいます。関係機関との連携協力をより強固にし、犯罪被害者などの支援がより円滑に実施されるよう本協定を締結する運びとなりました。

## 市史編さんだより vol.22

令和2年、大田原市で唯一のタバコ農家の吉成一豊さん(昭和16年生まれ)は、日本たばこ産業が募集したタバコの作付け廃止希望に手を挙げました。かつては多くの方が大田原市域の伝統的産業であるタバコ栽培に従事していましたが、令和3年大田原市でのタバコ栽培はこうして幕を閉じることになりました。

令和3年8月初旬、タバコの収穫を取材しました。タバコ農家の朝は早く、日の出とともに作業を始めます。片手で大きな葉を摘み取り、その葉を抱えて収穫していきます。タバコの葉は下から2枚をシタハ、次の2枚をチュウハ、その次の6枚をアイハ、次の6枚をホンバ、その上をウワハと呼ぶそうです。シタハとチュウハは各々2枚ずつ、アイハとホンバは各々3枚ずつ2回、ウワハは1度に4、5枚を摘み取ります。当日はホンバの収穫日で、午後からは2本の縄をよった連縄に葉を1枚1枚はさんでいくタバコハサミの作業でした。この連縄をビニルハウスで2～3週間吊るした後、納屋に吊り直して乾燥機で完全に乾燥させます。

吉成さんは夫婦でタバコを栽培していました。収穫は午前4時頃から始まり、朝が早いタバコ農家には嫁の来手がないといってやめる家もあったといいます。しかし妻の和子さんや一豊さんの母はタバコの仕事が好きでした。ふたりはたとえ喧嘩をしても、タバコハサミが始まるといつのまにか一緒に作業をしていて、嫁と姑はタバコハサミで心を通わせていました。

子どもの頃、夜なべにタバコを伸ばすタバコノシを手伝われ眠くてたまらなかつたと語る人、タバコの出荷時に専売所の周辺で買い物をした思い出を語る人もいます。大麦の畝の間に植えられたタバコ畑を思い出す人もいるでしょう。タバコ畑のある風景は、昭和頃までの大田原市を象徴する風景でした。(民俗部会 筒江(小川)薫)

問 文化振興課 TEL(47)5031

## 民俗部会調査速報⑦

## ～タバコ畑のある風景～



タバコの収穫



タバコハサミ(令和3年)